第1日 3月28日(金) 9:00~10:30

| | | | 3月28日(金 | $9:00 \sim 10:30$ | | |
|-------|---|---|---|--|--|---|
| | A 会場 | B 会場 | C 会場 | D 会場 | E 会場 | F会場 |
| 時間 | 1301 果樹 I | 1302 果樹 II | 1303 果樹 III | 1102 野菜 I | 1103 野菜 II | 1104 野菜 III |
| 9:00 | 本内1 マーカー・遺伝子解析 座長 山本 俊哉 1aA 果 01 ミカン缶詰原料における DNA の断片化と品種判定への利用について ○野村和希¹・清水徳朗²・藤井子²・島田武彦²・遠 藤朋子²・「中野岡大農学部・大?」農研機構果樹研,3 岐阜大院連合農学研究科) | リンゴ 座長 阿部 和幸 laB 果 01 ○上田仁悦・丹波 仁*・ 照井 真・佐藤 廣・小林 香代子*・佐々木美佐子**・ (な印書)・北井・ 早樹詩** *** | 未肉 III 遺伝資源・核果類 座長 中村 ゆり laC 果 01 中国・新彊ゥイグル自治区 に分布する果樹遺伝資源 1.ナシ ○佐藤義彦 ¹ ・山口正己・ 養 花 ² ・土師 岳 3・王 宝子 村柯 ² ・潘 「 優 ² ・王 宝子 ¹ ・ 津國達朗・山本俊哉 (¹ 健 春生 ² ・白田和後 ⁴ (¹ 健 香竹機構果北農研、 ² 新彊 優子研 3 農研機構東北農研、 ⁴ 生資研 | 育種・品種 I 座長 一色 司郎 1aD 野 01 Allium roylei 由来遺伝質を導入 した A. cepa の単一異種染色 体添加系統および細胞質置換 系統の作出 ○岩田真智子・吉松康行・ ブウクウエンホア・山内 直樹・執行正義(山口大農 | 野米 II 養液栽培他 I | 野来 III 栄養生理・施肥 I 座長 浅尾 俊樹 IaF 野 01 キトサンの異なる土壌混和時 期がトマトの成長および果実 国質に及ぼす影響 ○ Sributta Akkadet・松本真 悟・太田勝巳(島根大生物 資源科学部) |
| 9:15 | 野中圭介 ・國智 武 ・山 | 上田仁悦 1・佐藤 廣 1・照 井 貞 1・小林香代子 1・ 波 仁 3・○高橋 樹試、2 秋田農水技セ果樹試館角 3 秋 | 類 ○山口正己 ¹ ・佐藤義彦 ¹ ・ | 子合成酵素 (LFS) タンパク 質発現量評価法の開発 〇正村典也 13・室 崇人 2・ 今井真介 3・執行正義 4 (1鳥取大院連合農学研究 科、2農研機構北海道農研, 3、カス食品株式会社 4山 | 1aE 野 02 連液流動水耕における高濃度 溶存酸素条件が数種葉菜類の 養分吸収に及ぼす影響 〇切岩溶却・長崎仁志・・ 正宗達樹 ² ・遠藤昌伸 ³ ・糠 谷 明 ¹ (¹ 静岡大農学部 ² (株)ハマネッ、静岡大イノベーション共同研セ) | 1aF 野 02 トマト葉に蓄積した過剰ホウ素が光合成関連要因と糖含量 に及ぼす影響 ○中井広射・名田和義・・ 吉田洋人・・ 礒崎真英・・ 平 京 中 1 (1 三重大院生物資源学研究科, 2 三重科技セ農研部) |
| 9:30 | laA 果 03 カンキッ FRUITFULL ホモロ グの花成に及ぼす影響:シロ イヌナズナにおける機能評価 とカンキッ類における内生遺 伝子発現の解析 ○西川芙美恵・藤井 浩・清 赤破朗・大村三男 ² (「農 研機構果樹研」。静岡大農学 部) | ○今 智之¹・葛西 智¹・ 深澤(赤田)朝子¹・工藤 | | IaD 野 03 レタス根腐病抵抗性品種 'V レタス' のレース I 抵抗性遺 伝様式について ○土屋宜明・松本悦夫(長 野野菜花き試) | TaE 野 03 閉鎖型苗生産システムを利用 したベビーリーフの栽培 ○北条雅章 ¹ ・丸尾 達 ² ・篠原 温 ² (¹ 千業大環境健 康フィールド科学セ、 ² 千業 大園芸学部) | TaF 野 03 誘電率土壌水分センサを利用 した灌水制御によるトマト栽培 ○岩崎泰永・吉田千恵(宮 城農園研) |
| 9:45 | 1aA 果 04 喜界島(鹿児島県)の在来カ ンキツであるケラジミカン (C. karqii) の親の推定 ○山本雅史・福田麻由子・ 古賀孝徳・名保達也・富永 茂人(鹿児島大農学部) | laB 果 04 リンゴ、ふじ、と、ふじ、枝 変わり品種の日持ち性の違い に関する分子機構 ○王 愛徳 1・立木美保 2・ 原田竹雉(1・弘前大農学生 命科学部、2農研機構果樹研) | □ 若菜 章 ¹ ・立山 民 ² ・ 酒井かおり ¹ (¹ 九州大院農 学研究院 , ² 九州大院生資環 | Sesquiterpene Lactones 含量の変 | 控に適した給液方法の給討 | 1aF 野 04 霧地の養液土耕栽培における 給液頻度および治液量の違い がナスの生育および土壌養水 分に及ぼす影響 〇安 東蘇・池田英男 ² (「茨城農総七園研 ² 大阪府 立大院生命環境科学研究科) |
| 10:00 | 座長 島田 武彦 1aA 果 05 1aA 果 05 1aA 果 05 キシの連鎖地図 XI.高密度標準連鎖地図の構築 ○寺上伸吾・澤村 豊・高田教臣・佐藤明彦・平林利郎・西谷千佳子・今井 剛・山本俊哉(農研機構果樹研) | 座長 渡邉 学 1aB 果 05 果樹におけるアブシシン酸 8 水酸化酵素阻害による乾燥耐性付与 ○須川・大川克哉 1・小原 お・上野琴日 2・水井・水川・東部 1 ペー・水井・東部 1 ペー・水井・東部 1 ペー・水井・東部 1 ペー・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボール・ボー | ○神尾真司*(岐阜中山間 農研、岐阜中山間農研中津 | 青枯病抵抗性評価 ○三村 裕¹・吉川正巳¹・ 平井正志 ^{1,2} (¹京都農資研 セ²京都府立大院農学研究 | 養液栽培他 II 座長 篠原 温 1aE 野 05 閉鎖型苗によるトマトの簡易・ 一段密植養液栽培システムの 唯立と実証・第2報)の選定について ついて 〇山田圭太 ¹ ・近藤 文恵 ² ・ 東野裕広 ¹ ・遠藤雄士 ¹ ・中 南暁夫 ³ ・ 板木村隆 ⁴ (「JA ネ スサボート」、3 太洋興業㈱, ⁴ 板木技術士事務所) | 栄養生理・施肥 II 使長 名田 和義 IaF 野 05 pFセンサーと誘電率土壌水分センサーを利用したキュウリ の給液管理 ○岡 准慈 1・漆山喜信 2・ 吉田千恵・岩崎泰永 2 (「大塚化学(株), 2 宮城農 |
| 10:15 | IaA 果 06 ナシの選抜マーカーに関する 研究(第 4 報)組織学的手法 により数量化した果皮色表現 型の品種間差異 ○大島良彦・原 弘道・井 上栄一(茨城大農学部) | 浅利正義 ² •横山峰幸 ³ •吉 田茂男 ⁴ •近藤 悟 ¹ (¹ 千 | 1-MCP 樹上処理剤の効果 ○岩谷章生 ¹ ・藤丸 治 ^{1*} ・ | 藤 新。山田田宏(農研機 | 1aE 野 06 トマトの養液栽培におけるダ ブルトラフ構造ペッドを用い た量的管理法の研究(第 5 報) カリウム施用量の検討 ○ Phandara 'P ¹² ・遠藤昌伸 ³ ・ 切岩詳和 ² ・糠谷 明 ² (「岐阜大院連合農学研究 科」静岡大農学部の大農学部の大イノベーション共同研セ) | laF 野 06 培養液の流速と濃度が数種野 菜苗の生育と無機要素吸収に 及ぼす影響 つ ・藤崎知佳 ² ・ 池田英男 ¹ ・斎藤岳士 ¹ (「大阪府立大院生命環境科 学研究科、 ² 大阪府立大農学 部) |
| | | · | | | | |

第1日 3月28日(金) 9:00~10:30

| C AH | 毎1日 | 3月20日(並) | 9.00 ° 10.30 | 17 人担 | |
|--------------|--|--|---|--|-------|
| G 会場 1204 | H 会場 1305 | I 会場 1306 | J 会場 1307 | K 会場 1202 | 時間 |
| 野菜 IV | 花き I | T500 花き II | 花き III | 利用 I | (i⊣1) |
| | 遺伝資源 座長 土橋 豊 1aH 花 01 フルストロメリアにおける胚 および胚乳形成過程の組織学 的解析 ○ 柏原夕希子¹・荒木 肇¹・ 篠田浜一²・村田奈芳²・星 | 兼培 座長 梶原 真二 lal 花 01 植物体内の水分含量の違いが パンジーの光阻害に及ぼす影 響 ○竹本哲行 1・前田茂一2・ 島 浩二 3(1京都農総研、 奈良農総セ、3和歌山農総技 セ農試) | 収穫後生理 座長 土井 元章 1aJ 花 01 貯蔵中の糖付加によるカーネーション切り花の長期品質保 | 園芸療法 座長 望月 寛子 1aK 利 01 園芸療法と作業療法の関係か らみた園芸療法の方向性 ○小浦誠吾・小川敬之・東 押川武志・東 健爾 2・東 健太郎 2・稲垣智祐 2 (1 九州保健福祉大保健科学 部,2 社会福祉法人完爾会) | 9:00 |
| | の推定 ○二神友一 ¹ •中島 克 ² • 藤澤加奈子 ³ •釜 沙織 ³ • 加藤淳太郎 ³ •市橋正一 ³ | 川順也 ³ ・島 浩二 ⁴ (¹ 岡 | る温度変化にともなうエチレン生合成関連遺伝子発現と酵素活性の変動 ○市村一雄¹・渋谷健市¹・ 仁木朋子¹・棚瀬幸司¹・ | 1aK 利 02 在宅精神障害者への園芸作作業と看該性談をとりいれた効果的な社会復帰プログラムの検討 ○片倉直正子・小宮山政子・・小宮山政子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9:15 |
| | laH 花 03 ニオイエビネ(Calanthe izu- insularis)とシラン(Bletilla striata)との交配による属間 雑種の作出・ ○三吉一光・「工藤まり子・「 三位正详~(、 | 1aI 花 03 熱融着性ポリエステル繊維固 化培地を用いたポットレス花 壇苗生産 5. 気化冷却を利用 した庭園用シクラメン生産シ ステムの開発 〇後藤丹十郎 ¹ ・清水 名·藤 小間康史 ² ・中野善公 ³ ・島 井一徳 ² ・中野善公 ³ ・島 井一徳 ⁴ (「岡山大彦自舎、島科 横衛近中の農研, ⁴ 和歌山農 総技セ農試) | 1aJ 花 03 ポットカーネーションの花に おけるエチレン感受性の品種 間差異 ()小野崎 隆・八木雅史 (農 研機構花き研) | 成分・色 座長、久保 康隆 laK 利 03 カンキッ果実の培養砂じょう 組織におけるアスコルビン酸 関連遺伝子の発現変動 ○加藤雅地・沖松明一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9:30 |
| | 座長 田淵 俊人 1aH 花 04 Petunia integrifolia と P. inflata の系統地理学的構造と遺伝子 浸透 ○西山絵梨香 ¹ · Goro Hashimoto² · Eduardo Marchesi³ · Isabel L. Basualdo⁴ · Laura Bullrich² · 安藤敏夫 6 (¹ 千葉大院自然科学研究科, 'Z'Centro Pesq. Hist. Nat. Brazil, ³Fac. Agronom. Univ. Rep. Uruguay, ⁴Univ. Nac. Asuncion, Paraguay, ¸INTA, Argentina, 6 千葉大院園芸学研究科) | | 座長 深井 誠一 1aJ 花 04 花持ちの長いカーネーション における加齢にともなう自己 触媒的エチレン生成能の低下 とエチレン生合成酵素遺伝子 およびエチレン 情報伝達遺伝 子の発現 ○棚瀬幸司・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1aK 利 04 トマト茎葉部揮発性成分の大 腸菌への抗菌作用 ○石田健第・塚本東月 ³ ・早 山浦博美・塚本東月 ³ ・早 田保義 ¹ (¹ 明治大農学部、 ² 明治大研究・知財戦略機 構、 ³ 明治大院農学研究科) | 9:45 |
| | laH 花 05 Calibrachoa 属の花筒色の遺伝 様式 ○竹原龍太朗 ¹ • Goro Hashimoto ² • Laura Bullrich ³ ・ 安藤敏夫 ⁴ (「千業大園芸学 部, ² Centro Pesq.Hist.Nat. Brazil, ³ INTA Argentina, ⁴ 千 業大院園芸学研究科) | lal 花 05 ラナンキュラスの促成栽培における養分吸収特性 ○本田由美子・福元孝一(宮 崎総農業試) | laJ 花 05 カーネーション雌ずいの ACO 活性に対応した新規 ACO 遺 伝子 ○乗越 亮・仁木朋子・市 村一雄(農研機構花き研) | 1aK 利 05 核酸が純粋培養におけるアー バスキュラー菌根菌の胞子形 成に及ぼす影響 ○堀井幸江・石井孝昭(京 都府立大院農学研究科) | 10:00 |
| | 1aH 花 06 ペチュニア品種のアントシア ニン合成系鑑賞伝子 R の起源 《落合 忍¹・松原紀嘉²・ Goro Hashimoto³・Eduardo Marchesi⁴・Isabel L. Basualdo⁵・Laura Bullrich⁴・安藤敏夫 7 (十葉大院園芸学研究科, 2 千葉大院自然時代研究科, 3 (2 ft | 座長 後藤丹十郎 lal 花 06 パーク堆肥を増土として使用したミニバラ鉢物栽培における鉢内土壌溶液の窒素の変化 ○石黒 泰1・北村 62・ 澤頭勇次2・加藤克彦3・福農井博一2(1岐阜大院連合農 学研究科2,岐阜大院用生物科学部3,岐阜農技セ) | 座長 棚瀬 幸司 1aJ 花 06 シクラメン花蕾の老化様式と受粉との関係 ○武馬 寛・土井元章(信州大農学部) | 軟化・細胞壁 座長 村山 秀樹 laK 利 06 機能的スクリーニングとマク ロアレイ解析によるナシ果実 の成熟に関係する細胞外因子 の網羅的解析 ○ Mwaniki MW ¹ ・中野龍平 ¹ ・ 牛島幸一郎 ¹ ・青木 孝 ² ・ Rose JKG ³ ・ 久保康陸 ¹ (¹ 岡山大院自然科学研究科, ² か・ずさ DNA 研究所, ³ コー ネル大) | 10:15 |

第1日 3月28日(金) 10:30~12:15

| | | 分 1口 | 3月20日(並) | 10.30 - 12.13 | | |
|-------|---|---|--|---|---|---|
| | A 会場 | B 会場 | C 会場 | D会場 | E 会場 | F 会場 |
| 時間 | 1301 | 1302 | 1303 | 1102 | 1103 | 1104 |
| | 果樹 I | 果樹 Ⅱ | 果樹 III | 野菜I | 野菜Ⅱ | 野菜 III |
| 10:30 | IaA 果 07 ナシ品種 '大原紅' の有する ナシ赤星病抵抗性遺伝子の QIL マッピングとマーカー選 抜 ○伴野 潔・掛川真弓・関 口和樹(信州大農学部) | 1aB 果 07 リンゴ樹における環境ストレ ス、特に紫外線と生理活性物 | 1aC 果 07 乾燥ストレスがウメ 「南高」 の炭水化物および水溶性ポリ フェノールの蓄積に及ぼす影 響 ○土田靖久(和歌山農総技 セ果樹試うめ研) | TaD 野 07 寒冷地における高糖度カラー ビーマンの特性 ○元木 悟!*・矢崎明美!・ 小林 優2・古越 悟9: 高杉 高直志2・小西千秋3・上杉 壽和!(長野野菜花き試) | 1aE 野 07 アンモニア態窒素を主要な窒素源とする培養液の重炭酸セオンおよびケイ酸の添加濃度が水料サウレンソウの生育に | 1aF 野 07 数種アミノ酸がイチゴの自家 中毒に及ぼす影響 ○浅尾俊樹 ¹ ・北澤裕明 ² ・ |
| 10:45 | IaA 果 08 果実性状が異なると報告された2つの。平塚 16 号。の特性比較 ○塩田あづさ ¹ ・澤村 豊 ² ・山本佼哉・川瀬信三 ¹ (¹ 千葉農総研セ、 ² 農研機構 果樹研) | リンゴ非破壊選果による果実 品質の台木間差異 ○工藤和典・別所英男・増 田哲男・猪俣雌司・守谷友 | カキ 座長 佐藤 明彦 laC 果 08 カキの甘茨性とフラボノイド 合成系に関連した遺伝子群の 発現について ○赤木剛生・池上礼子・山田昌彦・・米森敬三 (「京都大院農学研究科」。農研機構果樹研) | TaD 野 08 きゅうりモザイクウイルス (fity-CMV) 抵抗性唐辛子品種 育成 ○梁 承均 ¹ ・崔 淳浩 ¹ ・ 許 南漢 ・趙 和鎮・韓 李學 ¹ ・幸 永馥 ² ・ ・ 共 美知男 ³ (¹ 農友バイオ R&D 本部 ² ・忠南大学校 ³ 信州大 農学部) | 異なる光条件で栽培した赤 色アマランサス (Amaranthus tricolor L.) のベタシアニン 含量 . 抗酸化活性ならびに | 栽培・作型 I 座長 小泉 丈晴 laF 野 08 根株養成期間の違いが伏せこ み栽培のアスバラガス萌芽に 与える影響 ○山口貴之1・山田 修2・及川一也 (1 岩手農研セ、2 岩手県農産園芸課) |
| 11:00 | 座長 板井 章浩 1aA 果 09 リンゴの S 遺伝子型:S ₆ -, S ₂₁ - RNase allele 同定法の確立と 'こうみつ', 'シナノビッコロ' の来歴 ○森田純子 ¹ ・前島 勤 ² ・ 小松宏充 ³ ・松本省吾 ¹ (¹ 岐 阜大教育学部 ² 、長野果樹試 , ³ 長野県農政部) | 材変色とフロストリング様症 状の発生 ○守谷友紀 ¹ ・工藤和典 ¹ ・ 猪俣雄司 ¹ ・増田哲司 ² ・和田 村博明 ² ・小野浩司 ² ・和田 雅人 ¹ ・別所英男 ¹ (¹ 農研 | びに果頂裂果の抑制 ○尾形凡生 ¹ ・大森健太郎 ¹ ・ 浜田和俊 ¹ ・長谷川耕二郎 ¹ ・ | 1aD 野 09 細胞質雄性不稔性のナス育種 への利用 ○ 齊藤猛雄・松永 啓・山 田朋宏・斎藤 新 (農研機 | laE 野 09 数種アブラナ科スブラウトの が酸化成分含量に及ぼす光質 の影響 ○戸田雅美 ¹ ・前田智雄 ¹ ・ 大島千開 ² ・鈴木 卓 ¹ ・北 澤勝次 ¹ ・鈴木正彦 ¹ (北 澤道大院農学研究院、 ² 森産 業 (株)) | 1aF 野 09 アスパラガス促成栽培用 1 年 半株の充実過程 ○武田 悟・篠田光江(秋 田農技セ農試) |
| 11:15 | laA 果 10 アーモンド自家和合性 ダハブロタイプの解析 ○花田俊男 ¹ ・福田恭子 ¹ ・ Alonso J.M. ² ・Socias i Company R. ² ・山根久代 ¹ ・ 田尾龍太郎 ¹ (京都大院農 学研究科 ² ・Zaragoza 園試) | TaB 果 10 果実検疫に対応したハダニ等 事前防除技術の開発 ・中村やり 1・宮崎昌宏 ² ・ 齋藤秀文 ² (「農研機構果樹 研・2・農研機構中央農研) | laC 果 10 カキ な秋 両性花の開花と 果実特性 ○長谷川耕二郎・濱田和俊・ 尾形凡生(高知大農学部) | 本長ナス系統における単為結果性個体選抜法の開発 ○古閑三恵 ¹ ・菊地 郁 ² ・ | ける UV-B,UV-A, 青色光の相 互作用によるアントシアニン 生合成の誘導 ○加藤彩子 ¹ ・本間信一郎 ¹ ・ 李 玉花 ² ・河鰭実之 ¹ (¹ 東 | 1aF 野 10 暖地でのアスパラガス伏込み 促成栽培の収量性に及ぼす伏 込み時期の影響 ○渡辺慎・・古谷茂貴・大 和陽一(農研機構九州沖縄 農研) |
| 11:30 | laA 果 11 ニホンナシの自発体眼打破に 関与する候補遺伝子群の解析 ○竹村圭弘 1・伴 雄介 2・ Xiao-Ming Pang ・田村文男 1・ 森口卓哉 2・()。取大院連 合農学研究科 2、筑成大院連 合農学研究科 3、北京林業 大・4、農研機構果樹研) | | 座長 尾形 凡生 1aC 果 11 不織布ポットと台木の種類が カキ 平核無 の樹体生育。 果実収量、品質に及ぼす影響 ○本永尚彦・松本辰也・根 津 潔 (新潟農総研園研セ) | TaD 野 11 トマト品種 "DG03-9" に存在 するア・アミノ酪酸 (GABA) 高蓄積形質の遺伝解析 ○稲井秀二1・藤井 崇・ 小西千秋 ・松倉千昭 -・江 面 浩2 (1日本デルモンテ (株), 7 筑波大院生命環境科 学研究科 | イエゴ里宝のペラルゴージン | 1aF 野 11 アスパラガス圃場収穫跡調査 による累積収量の簡易推定 ○植野玲一郎・江原 清 1。 菅原章人 ² (「北海道上川農 試、 ² 北海道道南農試) |
| 11:45 | laA 果 12 ウメ自発休眠芽で発現する低 温応答性 MADS-box 遺伝子の 卓難と発取解析 ○山根久代・柏 幸伸・大 岡智美・田尾龍太郎・米森 敬三(京都大院農学研究科) | | laC 果 12 カキのビタミン C 含量に及ぼ す環境要型の影響 ○新川 猛¹・鈴木哲也¹・ 熊谷勝広²・三宅紀子³・倉 田忠男³(¹ 岐阜農技セ・, 小林製袋産業(株), ³ 新潟 薬料大応用生命科学部) | Real-time PCR 法を利用した TYLCV の定量によるトマト | TaE 野 12 | 栽培・作型Ⅱ 座長 渡辺 慎一 1af 野 12 防根給水ひも」による果菜 類の養水分需給パランス栽培 法の開発(第6報)春~夏季 秋培において根域拡張および 「ひも」適用が果雲収量と品 質に及ぼす影響 ○森重歩己・村上賢治・桝 田正治(岡山大院自然科学 研究科) |
| 12:00 | | | | 育種・品種 IV 座長 松永 啓 laD 野 13 ペポカボチャ (Cucurbita pepo L.) の無種皮系統間 F1 における草型・種子収量の解析 ○嘉見大助 1・伊藤喜三男 2・杉山慶太 1・左宿養彦 2(1 農研機構北海道農研,2(財)北海道農業企業化研) | 1aE 野 13 ホウレンソウ可食部 Cd 濃度 の品種間差異および Cd 吸収 抑制技術 ○辻 顕光 (農研機構野菜 茶研) | 1aF 野 13 「防根給水ひも」による果菜 類の養水分需給パランス栽培 法の開発、第7報)緩効性肥料を用いた中玉トマト長助 成栽培において根域拡張と 「質に及ぼす影響 ○桝田正治・・藤井由貴・・ 下貴文治・・中村信幸も「1 岡 山大院学部、農研機構近中 四農研・4 テッソ旭肥料(株)) |

第1日 3月28日(金) 10:30~12:15

| 日会場 日会場 日会場 1306 1307 1202 初日 1305 1306 花を1 1306 1307 1202 初日 1306 花を1 1306 1307 1202 初日 1306 1307 1202 初日 1306 1307 1202 初日 1306 1307 1202 初日 1306 1307 1306 1307 1302 1306 1307 1307 1302 1306 1307 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1306 1307 1302 1 | | 第1日 | 3月28日(金) | $10:30 \sim 12:15$ | | |
|--|-------|--|---|---|--|-------|
| Teb II | G 会場 | H 会場 | I 会場 | J会場 | K 会場 | |
| 141 年 07 | | | | | · | 時間 |
| カックの系統地理学的機能: セードルアルエよの関係の シッカ・メ参称の東エエ 5 収 | 野菜 IV | | | | 利用Ⅰ | |
| 少東 五氏 1 表 1 表 2 | | カッラの系統地理学的構造: 長野県の概要 一字藤城夫・・小山泰弘 ² ・ 清原佑介 ⁴ (¹ 千葉大関芸学研 完科 ³ 、長野県林業総合セ、 3 千葉大関子等・ フィールド科学セ) 育種 座長 | ヒートポンプによる夜間冷房がバラ養液栽培の蒸発散量と がバラ養液栽培の蒸発散量と 地穫後の日持ちに及ぼす影・ 守仕藤展之・・寺田吉徳・・ 守谷泰樹・・安井清登・野々 下智泰 ⁴ (排御農林研・調シ ステム㈱、 ⁴ ネポン(㈱) | シクラメン鉢物の風による収 横前順化と蒸散特性 ○土井元章 ¹ ・大家牧子 ¹ ・ 鈴木康平 ¹ ・稲本勝彦 ² (「信州大農学部、 ² 農研機構 東北農研) | 酵母で発現したトマト β galactosdase(TBG)4 およ び5の酵素特性 ○石丸、恵¹・David L. Smith²・Andrew J. Mort³・ Kenneth C. Gross²(¹ 大阪府 立大院生命環境科学研究 科,²USDA-ARS,³ オクラホ マ州立大) 1aK 利 08 トマトβ・ガラクトンダーゼ | |
| トルコギキョのウウイルス 放送 物子 の | | マメハモクリバエ抵抗性とキク業諸形質との関係及び簡易 抵抗性検定法 ○関塚史朗・大石 毅・儀 間直哉・宮城悦子・首藤亜 耶乃(沖縄農研) | 開発 ○梶原真二 ¹ ・島地英夫 ² ・ 佐野誠一郎 ³ ・前澤幸繁 ³ (¹ 広島総研農技セ, ² 農研機 構化き研, ³ (株)東芝) | レンの関係 ○湯本弘子・市村一雄(農 | ○枝 真広 「石丸 恵」・ 多田俊治 ² ・木下誉富 ² ・ David L. Smith ³ ・ Kenneth C. Gross ³ (「大阪府立大院生命 環境。大阪府立大院理学 系, ³ USDA-ARS) | |
| 1aH 花 10 スイートビー新品種 ' ムジカローズ' の育成 の一大 の | | トルコギキョウのウイルス抵抗性育種に関する研究(第3 報)新規の Tombusvins (LINSV, 仮称)に対する品種および系 統の抵抗性評価 ○宮坂昌実・藤永真史・宮 本賢二・松本悦夫(長野野 菜花き試) | 座長 宮本 賢二 1al 花 09 オドンチオダの花茎発生に及 ぼす日長とジベレリン施用の 影響 ○窪田 聡・村松嘉幸・薗 田 直・腰岡政二(日本大 生物資源科学部) | | 座長 山田 邦夫 1aK 利 09 フールスメロン果実の品質に 及ぼす収穫後のガス環境の影 響 ○宮崎清宏・杉本貴美・鈴 木芳孝(高知農技セ) | |
| EOD-leating によるアフリカとハナワギクの属間雑種における突然変異誘発と針物用有 2 回数な ○ | | 1aH 花 10 スイートピー新品種 'ムジカ ローズ' の育成 ○中村 薫 ¹ ・八反田憲生 *1・福元孝一 ¹ ・明石 良 ² (「宮崎総農試、 ² 宮崎大フロ フ宮・ア科学実験総セ、*中 部農改セ) | ブリムラ・ボリアンサの開花 に及ぼす暗黒条件での低温処理の温度と期間の影響 〇石川貴之(埼玉農総研セ 園研) | | 収穫後のエタノール蒸気処理 がブロッコリーのクロロフィ ル分解酵素の活性に及ぼす影 響 ○深澤明日美 ¹ ・寺井弘文 ¹ ・ 山内直樹 ² ・鈴木康生 (¹ 神戸大院農学研究科, ² 山 口大農学部) | |
| 電照教培用黄色系夏秋ギク "夏日和'の育成 〇谷川孝弘・平島敬太・山 田明日香・巣山拓郎・松野 孝敏・國武利浩(福岡農総 武) | | X線を利用したマーガレット とハナワギクの属間雑種にお ける突然変異誘発と鉢物用有 望品種の選抜 ○稲葉善太郎 ¹ ・植田陽子 ^{2*} (「静岡農研伊豆農研セ ² ・静岡農研 [*] ・静岡中遠農林) | EOD-heating によるアフリカンマリーゴールドの開花促進 ○道園美弦¹・久松 完¹・ 柴田道夫¹・腰岡政二² (¹農研機構花き研,²日本大 | | 海洋深層水(ミネラル脱塩水) および硫酸アルミニウムが切 り花の品質保持に及ぼす影響 〇伊山幸秀・島 嘉輝(富 山農技セ野菜花き試) | 11:30 |
| 12:00 | | 電照栽培用黄色系夏秋ギク 「夏日和」の育成 〇谷川孝弘・平島敬太・山 田明日香・巣山拓郎・松野 孝敏・國武利浩(福岡農総 | | | 銀イオンの短期間処理による 秋ギク切り花の品質保持期間 延長 〇峯 大樹 ¹ ・市村一雄 ² ・ 田中利幸 ³ ・諸岡淳司 ¹ (¹ 長崎総農林試, ² 農研機構 | 11:45 |
| | | | | | | 12:00 |

第1日 3月28日(金) 12:15~13:00

| | | N2 1 H | 3 /1 20 H (3E) | 12.13 13.00 | | |
|-------|------|--------|----------------|---|------|--|
| | A 会場 | B 会場 | C会場 | D 会場 | E会場 | F 会場 |
| 時間 | 1301 | 1302 | 1303 | 1102 | 1103 | 1104 |
| | 果樹I | 果樹 Ⅱ | 果樹 III | 野菜I | 野菜Ⅱ | 野菜 III |
| 12:15 | | | | 1aD 野 14 スイカの軟 X 線照射花粉の授 粉による胚乳形成過程におけ る DNA 含量の推移 ○阿久津雅子・浜田和俊 ² ・ 山根信三 ² ・尾形凡生 ² ・杉 山慶太 ¹ (¹ 農研機構北海道 農研, ² 高知大農学部) | | 1aF 野 14 トマト低段密植栽培の 2 次育 面における後長抑制を目的とした培地温および施門方法の検討 ○安場健一郎「・鈴木克二」・中野有加・・大森弘美」・中野町町正「・高木英和・」川嶋 「・佐ゅ、本佐和・川嶋・「・佐ゅっ木英和・川嶋・「・古崎」・土屋 和 2 (1 農研機構野菜茶研,2 太洋興業) |
| 12:30 | | | | IaD 野 15 うどんこ病抵抗性を持つ小玉 スイカ新品種 紅あかぎ の 育成 ○山田文典・畠山雅直・湯 谷 譲 (群馬農技セ、(社) 群馬植防) | | 1aF 野 15 トマト低段密植栽培の 2 次育苗における量的施用と夜間給液の影響 ○ 鈴木克己 - ・水上宏二 2 - 安場健一郎 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 12:45 | | | | TaD 野 16 台木品種育成のためのメロン 近縁野生種の特性調査 宮本健次 ¹ ・○高津康正 ¹ ・ 氏家有美・坂田野輝 ³ ・宮 城 慎 ² (! 茨城農総セ農大、 ² 茨城農総セ生工研、 ³ 農研機構野菜茶研) | | |

第1日 3月28日(金) 12:15~13:00

| G 会場 H 会場 I 会場 J 会場 K 会場 1204 1305 1306 1307 1202 | |
|---|-------|
| 1204 1205 1206 1207 1202 | 1 1 |
| 1204 1305 1300 1307 1202 | 時間 |
| 野菜 IV 花き II 花き II 花き III 利用 I | |
| | 12:15 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | 12:30 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | 12:45 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| | | 第2日 | 3月29日(土 | $9:00 \sim 10:45$ | | |
|-------|--|--|--|--|---|---|
| | A 会場 | B 会場 | C 会場 | D 会場 | E 会場 | F 会場 |
| 時間 | 1301 | 1302 | 1303 | 1102 | 1103 | 1104 |
| | 果樹I | 果樹Ⅱ | 果樹 III | 野菜Ⅰ | 野菜Ⅱ | 野菜 III |
| 9:00 | カンキツ・山本 帯果樹 座長 山本 雅史 2aA 果 01 カンキツ新品種 '西南のひかり' 今井 第1・深町 武 ¹ ・吉園店 今井 第一 深町 武 ¹ ・吉園店 本売二 ² ・國質 武 ¹ ・吉園店 東高 ¹ ・三の登権、時研、2 佐賀大農学部、3 長崎果樹試) | 探索 ○金 鐘潤 ¹ ・舘野智昭 ¹ ・ | ける形態的,生態生理的,遺 伝的多様性について ボウデル プスパ ¹ ・○望 岡亮介 ¹ ・金 鎮國 ² ・藤田 帝司 ¹ ・別府賢治 ² ・田村大 | 座長 福元 康文 2aD 野 01 低シュウ酸突然変異ホウレン ソウの成育特性 ○村上賢治・伊丹良美・枝 元政樹*・畑 直樹*・桝 田正治 6岡山大陸自然科学 | 生理活性物質 座長 宇野 雄一 2aE 野 01 長期貯蔵によるトマト花粉の 発芽力喪失と吸水花粉のボリアミン合成能との関係 ○橘 昌司 1・宋・建軍 2 (1東京農大農学部 2・中国・河北科技大生物科学院) | 栽培・作型 III 座長 小澤 智美 2aF 野 01 ナス主枝の茎基部の局部加温 が着果、収量に及ぼす影響 ○ 森山友彦・・ 奥幸一郎 2・ 黒岩善治 3・ 伏原 肇 3 (1 福岡農総試筑後,2 福岡農総試,3 (株) Zen) |
| 9:15 | 2aA 果 02 カンキツ新品種 "津之輝" ○今井 篤・高原利雄・深町 浩・野中主介・松本亮司*・ 吉岡照高・國賀 武**・三谷 宣仁・稗圃直史***(農研 機構果樹町,佐賀大農学 部、***農研機構近中四農 研・***長崎果樹試) | 2aB 果 02 1- メチルシクロプロペン処理 がニホンナシ '幸水'の日型 ち性に及ぼす影響(第2報) 大型ポリエチレン袋を利用した処理 ○島田智人・須賀昭雄・藤 生恵美子(埼玉農総研セ園 研) | | 2aD 野 02 キャペツの機械収穫における 球の損傷程度と結球基部より 下の形態特性との関係 ○吉秋 斎・畠山勝徳・石 田正彦(農研機構野菜茶研) | 2aE 野 02 ブッシュ性カボチャ 'bush buttercup' の短節間性と植物 ホルモンの関係の解析 ○本多一郎・福田真知子・ 松尾 哲・菊地 郁 (農研 機構野菜茶研) | 2aF 野 02 ハウス栽培ホウレンソウの春 作での作付回数が盛夏期作の 生育におよぼす影響 ○森山真久(農研機構東北 農研) |
| 9:30 | 2aA 果 03 ・かんきつ中間母本農 7 号、または、かんきつ中間母本農 8 号、と早熟品種との後 代における早熟性の分離 ○根角博久・喜多正幸・太 田 智 (農研機構果樹研) | 2aB 果 03 樹体ショイント法によるニホ ンナシ *幸术*の超早期成園 化技術開発 (第 4 報) 定植吟 に全ての主枝を確立したショイント仕立で樹の初期収量及 び果ま品質 一柴田健一郎・関 達哉・ 小泉和明*・北尾一郎(神 奈川農技セ、*足柄上県政総 セ) | 2aC 果 03 ブドウ 'ビオーネ' における 超密値と灌木同時施肥栽培で の果実の収量と出質 倉藤祐輝・○河田真里 ² ・ 尾頸軟郎 ¹ ・小野俊朗 ¹ ・福 田文夫 ² ・久保田尚浩 ² (¹ 岡山農総セ農試、 ² 岡山大 院自然科学研究科) | の伸長と側枝発生の品種間差 異 ○大川浩司・小島安治(愛 知農総試園研(弥富)) | 2aE 野 03 免疫局在法を用いた植物ホルモンのイメージング キュウリの子房内のホルモン ○太田祐樹 1・児島清秀 1・知野秀次 1・斉藤洋太郎 2・新美芳二 2(新潟大自然研、2新潟大農学部) | 2aF 野 03 露地メロンの株間および仕立 て方法が果実の肥大、外観、 糖度および収量に及ぼす影響 一言田俊郎・川城英夫(千 葉農総研セ) |
| 9:45 | 2aA 果 04 コルヒチンの減圧吸収法による 4 倍体作出の効率化と育種 への早期利用 喜多景治・○政本泰幸・菊 地毅洋・三堂博昭・兵頭洋 仁・高木信雄(愛媛果樹試 みかん研) | | 2aC 果 04 根域制限栽培 安芸クイーン における施肥量および土壌水 分が着色に及ぼす影響(第 2 報) ○安川博之(京都丹後農研) | イチゴ育種の世代促進におけ る花成誘導処理に適した実生 | 生育生理 座長 本多 一郎 2aE 野 04 食用野草ユキザサの根茎休眠 の打破に及ぼす低温処理に先 行する涼温前処理の効果 ○高樹英明・木村史朗・上 野貴行(山形大農学部) | 栽培・作型 IV 座長 森山 真久 2aF 野 04 固化培地セル成型苗(若苗: 本業 1~2 校)を用いたレタ スにおける全自動移植機利用 とその特性 ○星野英正・・鈴木尚俊 ³ ・ 小澤智美 ¹ ・小松和彦 ² ・上 杉壽和 ¹ (¹ 長野野菜花き試、 ² 長野野菜花き試佐久支場, ³ 長野農総試) |
| 10:00 | 座長 中元 勝彦 2aA 果 05 カンキツ交雑実生群におけるカロテノイド生合成遺伝ナチンの集積特性・ () 生物音説・ 松本 光・ 遠賀博の () ・ 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 座長 柴田健一郎 2aB 果 05 ナシ・愛甘水・の高品質果実 生産のための側核育成法 ○西川祐司・三善正道(広 島総研農技セ) | 果房特性に及ぼす影響 ○関 幸哉 ¹ ・北尾一郎 ¹ ・ | 観察のための染色法の改善 ¹ ・ ○ナスワット ブリ・ダ ¹ ・ 柳 智博 ¹ ・岩坪美兼 ² ・曽 田一純 ³ ・高村武二郎 ¹ ・奥 田延幸 ¹ (¹ 香川大農学部、 ² 富山大理学部、 ³ 農研機構 | びシュウ酸含量の経時変化に 及ぼす明期中の CO ₂ 施与の影響 | が生育,結球重に及ぼす影響 (第1報)保温開始時期およ び保温程度の影響 ()町田剛史・川城英夫(千 |
| 10:15 | 2aA 果 06 マルドリ方式で栽培したウンシュウミカン '小原紅早生' の薬色の推移と果実糖集積の特徴 ○瀧下文孝・星 典宏・島崎昌彦・平岡潔志(農研機構近中四農研) | 2aB 果 06 ニホンナシ盛土式根圏制御栽培の'二年成り育成法'による早期多収技術 ○大谷義夫・林 雅子(栃木農試) | 2aC 果 06 キウイフルーツの果実肥大に 及ぼす L・ブロリン業面散布 の影響 ()瀬古澤由彦 l・秋元晴香 l・ 大宮秀昭・大島 泉 ² ・菅 谷純子 l・弦間 洋 l(1 筑 波大院生命環境科学研究 () な大院生命環境科学等支援室) | ゴの育種素材開発 - ゲノム 特異的マーカーを用いた栽培 種ゲノムと Fnilgerrensis ゲノ | 2aE 野 06 メロン果実のスクロース集積 に及ぼす摘業時期の影響 ○加納恭卓・松下和佳子(石 川県立大生物資源環境学 部) | 2aF 野 06 全面マルチ栽培における業務 用レタスの結球地大に及ぼす 株間の影響について (一)小澤智美・星野英正・小 松和彦・酒井浩晃・上杉壽 和(長野野菜花き試) |
| 10:30 | 2aA 果 07 有孔ビニール被覆栽培法によるウンシュウミカン高品質完 熱果の安定生産 ○菊地毅祥・三堂博昭・高 木信雄・喜多景治(愛媛果 樹試みかん研) | | の生長促進に及ぼす影響 ○クルス アンドレ フレ | する奇形果 (第2報) 施肥法 と微量要素肥料の施用が奇形 果発生に及ぼす影響 ○岡 和彦・中山敏文(佐 | 遺伝子解析 座長 松元 哲 2aE 野 07 ガラシ (Capsicum pubescens) とトウガラシ野生 種ウルピカ (C.cardenasii) の 種間雑種を用いた種子色の遺 伝解析 ○松島憲一¹・番匠弘美²・ 馬塲敏郎¹・南 峰夫具・根 本和注¹(¹信州大院農学研究 科) | 水分の影響 ○村上健二・東尾久雄・浦 |

第2日 3月29日(土) 9:00~10:45

| | | 3月29日(土) | $9:00 \sim 10:45$ | | |
|---|---|--|------------------------|--|-------|
| G 会場 1204 野菜 IV | H 会場 1305 花き I | I 会場 1306 花き II | J 会場 1307 花き III | K 会場 1202 利用 I | 時間 |
| 花芽分化他 I 座長 曽根 一純 全長 曽根 一純 2aG 野 切 に成 数 5 日 で で で で で で で で で で で で で で で で で で | 組織の露出装置の開発 細川宗孝・○鈴江久尚・矢 | 生育・開花調節 座長 窪田 聡 2al 花 01 トルコギキョウの初秋出し栽培における花芽形成を抑制するたまける花芽形成を抑制する差 一山田明日香・合川孝弘・ 巣山拓郎・松野孝敏・國武利浩(福岡農総試) | | 収穫後生理・加工・非破壊 座長 堀江 秀樹 2aK 利 01 0DS 吸着カラムクロマトグラスーによるクロロゲン酸エステラーゼ処理したムラサキイモからのアントシアニン色素の精製 1・倉田理恵2・吉元・載2・足立・勝1(「宮崎大院農学研究科、2農研機構九州沖縄農研) | 9:00 |
| 2aG 野 02 イチゴの果房発生位置と果房 伸長方向の関係 ○上曽山 大 ¹ ・丸尾 達 ¹ ・ 石川正美 ² ・篠原 温 ⁽¹ 千葉大園芸学部, ² 千葉農 総研セ) | 船浩平(県立広島大生命環 | 2al 花 02 補光及び地中加温がアルスト ロメリアの生育に及ぼす影響 ○神合勝己!・守谷栄樹 ² (「長野南信農試、 ² 中部電力 (株)) | | 2aK 利 02 漬け物への茶の葉の利用に関 する研究 ○梁川 正・中西洋子(京 都教育大教育学部) | 9:15 |
| 2aG 野 03 一季成り性イチゴの短日下に おける花芽分化可能な温度 ○山崎 篤・矢野孝喜・長 菅香織・福本勝彦・山崎博 子 (農研機構東北農研) | 2aH 花 03 ヤマシャクヤクの多芽体形成 と発根の検討 ○茂木靖和(岐阜森林研) | 2al 花 03 明期終了時の赤色・遠赤色蛍 光灯補光がヒマワリの開花と 花序の構成に及ぼす影響 〇林 孝洋・西川久仁子・ 矢澤 進(京都大院農学研 究科) | | 2aK 利 03 10 品種のブドウ果肉硬度の生育中の非破壊測定と果肉特性の物性測定値との比較 ○高橋正大・谷脇 満 ² ・櫻井直樹 ³ 、上野俊人 ⁴ ・薬 櫻井直樹 ³ 、上野俊人 ⁴ ・薬 学部 ³ 、広島大隆全学連携セ、3、広島大院生物圏科学研究科、 ⁴ 農研機構果樹研(安芸津)) | 9:30 |
| 2aG 野 04 四季成り性イチゴの自殖系統 による交雑実生苗の花芽分化 に及ぼす日長処理の影響 ○加藤伊知郎(香川農試) | | カーネーション萎縮叢生症に おける植物ホルモン量の変動 と IAA 処理が発症に及ぼす影 | | 2aK 利 04 スイカ F, 品種の食味評価に 及ぼす要因の探索 ○大澤雅子・橋詰利治 ¹ ・ 福崎英一郎 ² (「株)萩原 農場生産研究所, ² 大阪大院 工学研究科) | 9:45 |
| 花芽分化他 II 座長 小田 雅行 2aG 野 05 スイカ果実の外側部の果肉細胞の大きさとスクロース集積 医及ぼす夜間の果実加温の影響 加納恭卓¹・○池下洋一²・金森女里²・福岡信之²・松下和佳子¹(「石川県立大生 物資源環境学部。2石川農総研セ砂丘地農試) | セッコクにおけるクラス B MADS-Box 遺伝子の発現解析 ○ Sirisawat Supatida・福田 直也・半田 高(筑波大院 牛命環境科学研究科) | 早天心用生物科字部;"岐阜 | | 成熟・老化・品質評価 座長 鈴木 康生 2aK 利 05 キュウリ果実の物性測定値と 官能評価値の関連性解析 ○吉岡洋輔・堀江秀樹・坂 玉木有子・杉山充海 田好輝 ¹ (「農研機構野菜茶 研, ² 新潟医療福祉大) | 10:00 |
| 2aG 野 06 軟 X 線照射花粉利用種なしスイカにおける高品質果実生産のための植物成長調節剤の利用 川根信三¹・○養田龍一²・尾形凡生¹・杉山慶太³ (「高知大農学部。?渡辺バイブ(株)3農研機構北海道農研) | ○梅基直行 ¹・大塚雅子 ¹・ | 座長 福井 博一 2al 花 06 エビネ属植物におけるウイルスの発生状況の調査と垂直伝 搬に関する研究 ○川上清久 ¹ ・藤晋― ^{1,2} ・三吉一光 ^{1,2} (¹ 秋田県立大 院生物資源科学研究科 ² 秋 田県立大生物資源科学研究 科) | | 2aK 利 06 スイートバジルの低温感受性 に及ぼすコンディショニング 処理の影響 (フフリナアクター ¹ ・井 上真澄 ² ・高木敏彦 ² ・加藤 雅也 ² ・山脇和樹 ² (¹ 岐阜 大院連合農学研究科 ² 静岡 大農学部) | 10:15 |
| 2aG 野 07 低気温ボトムヒートによるキュウリ断根接ぎ木苗の簡易養生 ○ 次谷俊夫 ¹ ・土屋 和 ² (¹ 大阪府立大院生命環境科 学研究科, ² 太洋興業 (株)) | 植物花弁のスペクトル解析 ○小澤あつみ・上原友美・ | 2al 花 07 トルコギキョウに発生する土 壌伝染性ウイルスの発生生態 の解明と防除技術の確立(第 2割 ウイルス感染要因の検 討 〇宮本賢二・藤永真史・宮 坂昌実・小野佳枝・由井秀 紀・山本宗輝(長野野菜花 き試) | | 2aK 利 07 エチレン処理がセイョウナシ ・ミクルマス・ネリス、果実 の樹上成熟におよぼす影響 高橋紀博・○横尾信行・三 橋 渉・豊増知伸・村山秀 樹(山形大農学部) | 10:30 |

第2日 3月29日(土) 10:45~12:00

| | | 第2日 | 3月29日(土) | $10:45 \sim 12:00$ | | |
|-------|---|--|---|---|--|--|
| | A 会場 | B 会場 | C会場 | D会場 | E会場 | F会場 |
| 時間 | 1301 | 1302 | 1303 | 1102 | 1103 | 1104 |
| | 果樹I | 果樹 II | 果樹 III | 野菜I | 野菜 II | 野菜 III |
| 10:45 | 不同日 2aA 果 08 有孔ビニール被覆栽培法による不知火の高糖完熟果生産 ○三堂博昭・菊地毅洋・高 木信雄・喜多景治(愛媛果 樹試みかん研) | 2aB 果 08 グラニエ法によるニホンナシ のリアルタイム蒸散量測定 ○杉浦裕義・阪本大輔・杉 浦俊彦・朝倉利員(農研機 構果樹研) | 本でリー類 座長 金山 喜則 2aC 果 08 薬片培養によるシーベリー種 面の大量増殖 ○阪井悠介 ¹ ・興津 淳 ¹ ・ 合給木 卓 ¹ ・佐藤興査郎 ² ・ 右井現相 ³ 大澤勝文 ¹ ・ 木正彦 ¹ (「北海道大院農学 研究院、 ² 北方ベリー研、 ³ 農 研機構北海道農研) | 2aD 野 08 ダイコンひげ根黒変症の発生 に及ぼすクロルピクリンくん 蒸剤による土壌消毒の影響と 発生の品種間差異 | 2aE 野 08 トマトの花特異的に発現する タンパク質リン酸化酵素の解 | 2aF 野 08 フキの根ざし繁殖法による増 |
| 11:00 | 座長 向井 啓雄 2aA 果 09 隔年交互結実栽培と透湿性シートマルチ栽培がウンシュウさランのじょうのう膜の厚さカンのじょうのう膜の厚い及ぼす影響・・平岡潔志・・新居直祐・糠谷綱希・(上広海・銀谷・乗谷綱希・・平岡潔志・・新居施・乗谷綱布・東谷綱布・東谷綱大・大田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・ | | 2aC 果 09 ブルーペリー各品種及び Vaccinium 属野生種における WP-MS 培地を用いた大量増 種手法の適用性 ○白岩和真 ^{1,2} ・備川 聡 ² ・ 池田 洋 ² ・下村講一郎 ¹ (¹ 東洋大生命科部、 ² 群馬農 技セ) | ーンの発生と茎伸長に及ぼす | 2aE 野 09 ネギ・シャロット単一異種染色体添加系統シリーズ葉幹部 抽出物のヒト膀胱由来ガン細 胞株 UMUC3 に対する増殖抑 制効果 ○増齢真一・奥田 優・山 内直樹・執行正義(山口大 農学部) | ○後藤公美¹・岡田恵子¹・ 西本登志¹・前川寛之²・堀 川大輔¹・米田祥二¹(¹奈 良農総セ,²奈良南部農林振 |
| 11:15 | 2aA 果 10 ウンシュウミカン果皮による CO ₂ 固定と果実品質 ○平塚 伸・横山佑佳・宮 崎崇之・名田和義(三重大 院生物資源学研究料) | | 2aC 果 10 ブルーペリーの種間雑種の系 統における耐乾性 の菊池知古 ¹ ・近藤 健 ¹ ・山之内利治 ¹ ・岩崎良美 ² ・ 加口内利治 ² ・茶原 勲 ² (¹ 東京農総研セ、 ² 東京農工 大農学部) | 病虫害・生理障害 II 座長 川城 英夫 2aD 野 10 飼料作物による野菜ほ場での農薬ドリフト氏低減効果 () 宮販幸弘・後藤布美・茂敦志・・中栄夫・・赤沢弘吉・・中以夫・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 37 FF 76 1 3- 4 /FF (CCD 3 | |
| 11:30 | 2aA 果 11 リン酸散布によるウンシュウミカンの減酸 ()高山宜大 ¹ ・谷口友里 ¹ ・平塚 伸 ¹ ・河合義隆 ² ・川 村啓太郎 ³ (1=重大院生大 資源学研究科 ² 東京集大農 学部 ³ 、晃栄化学工業 k.k) | | ーの果実品質に及ぼす光反射 マルチの影響 | 2aD 野 11 アスパラガス廃棄根系大量す き込みによるキタネグサレセ ンチュウ密度抑制と後作レタ ス生育促進 (浦上敦子・札伊羅正・徳田 進一・東尾久雄(農研機構 野菜茶研) | | |
| 11:45 | 2aA 果 12 栽培期間中のカルシウム浸漬 処理がゴレンシ果実品質にお よぼす影響 ○兼田朋子・河合義隆・藤 澤弘幸・馬場 正・真子正 史(東京農大農学部) | | | 2aD 野 12 紫外線除去フィルムにおける 紫外線除去および害虫抑制効 果の持続性 ①水上宏二・平田祐子・森 山友幸(福岡農総試筑後分 場) | | |

第2日 3月29日(土) 10:45~12:00

| | - 分~口 | 3月29日(上) | 10.45 12.00 | | |
|---|--|---|-------------|---|-------|
| G 会場 | H 会場 | I 会場 | J会場 | K 会場 | |
| 1204 | 1305 | 1306 | 1307 | 1202 | 時間 |
| 野菜 IV | 花きI | 花き II | 花き III | 利用I | |
| 発芽・育苗 座長 加納 恭卓 2aG 野 08 7 8 9 7 9 7 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 | 2aH 花 09 グロリオサ各品種・系統の主 要アントシアニン ○阪口 優 ¹ ・高村武二郎 ² (「愛媛大院連合農学研究 科, ² 香川大農学部) | 2aI 花 08 キクわい化ウイロイドに強い 抵抗性を持つキク植物体の選 抜 細川宗孝・○尾森仁美・矢 澤 進(京都大院農学研究 科) | | 2aK 利 08 カキ果実の樹上における着色 と内部エチレンの関係 ○板村格之・花岡陽介・中 本哲義・成徳 聡・孫 寧 静(島根大生物資源科学部) | 10:45 |
| 2aG 野 09 トマト茎切断部へのアスコルビン酸処理が抗酸化活性とシュート形成に及ぼす影響 ○浄閑正史・森 源次郎・今堀義洋・小田雅行(大阪 府立大院生命環境科学研究 科) | 2aH 花 10 (第21報) 常緑性ツッジにおける花色とアントシアニン構成の関係について ○水田大輝 ¹ ・伴琢也 ² ・宮島郁柱 ² (1鳥取犬院連合農学研究科, ² 島根大生物資源科学部, ³ 九州大熱研セ) | | | 1-MCP 座長 板村 裕之 2aK 利 09 海外輸送条件下での 1- メチルンクロブロペンによるカキ '刀根早生' 果実の軟化抑制 効 (播磨真志・森本凉子・西 谷公男 (和歌山農総技セ果 樹試かき・もも研) | 11:00 |
| 2aG 野 10 レタス種子の光発芽特性に及 ぼす LEDの影響 ○城守 2 高村慎太郎 1 高村拓太郎 1 (1 盛岡三高, 2 岩手大教育学部,3 農研機 構東北農研) | ●・香り 座長・半田 高 2aH 花 11 キンカチャの黄色花色の発現 におけるアルミニウムの関与。 におけるアルミニウムの関与。 (合明宗津 1.2・柏原輝彦 4・柴 田道夫 1.2・中山真義 1.2・中山道夫 1.2・中山東 (1 農研機構花き研究科,3 東 京理科大理学部,4 理研) | | | 2aK 利 10 干し柿 市田柿 の原料果実に 対する 1- メチルシクロブロ ベンの作用性 ○船橋徹郎・山近龍浩・今 川昌平(長野南信農試) | 11:15 |
| 2aG 野 11 高温によるレタス節間伸長促進と高温遭遇ステージの関係 ○岡田邦彦 ¹ ・下田敬二郎 ² (『農研機構野菜茶研 ² 熊本 県天草地域振興局) | 散に与える温度と花弁表面構 造の影響 | | | 2aK 利 11 異なる温度条件下での 1-MCP 処理がウメ 南高 果実の品 質に及ぼす影響 ○大江孝明・岡室美絵子・ 根来圭一・土田靖久(和歌 山農総技セ果試うめ研) | 11:30 |
| | | | | 2aK 利 12 I-MCP がナシ果実貯蔵中の 糖代謝に及ぼす影響 ○板井章浩・棚橋拓郎・田 辺賢二(鳥取大農学部) | 11:45 |